

平成 29 年 4 月 1 日

中 学 校 長 殿
各 地 区 卓 球 委 員 長 殿
関 係 卓 球 ク ラ ブ 長 殿

茨 城 県 卓 球 連 盟 会 長
川 田 進
カ デ ッ ト 部 代 表
後 藤 圭 一

平成 29 年度全日本卓球選手権大会カデットの部（中学 2 年以下）
茨城県大会（兼・全国大会予選会）開催について

標記の件，下記のように開催することになりましたので，御案内申し上げます。
本連盟は，本年度も各種大会を開催しておりますが，特にジュニア層の強化は本県
はもとより，日本の現状からも大きく取り組まなくてはならない課題でもあります
ので，御配慮の程よろしく申し上げます。

記

- 1 主 催 茨 城 県 卓 球 連 盟
- 2 期 日 平成 29 年 9 月 24 日（日）
- 3 会 場 筑西市下館総合体育館 TEL 0296-28-5040
8:00 開 場 8:30 開会式 9:00 試合開始
- 4 競技種目
 - ・ 13 歳以下男子シングルス
 - ・ 14 歳以下男子シングルス
 - ・ 男子ダブルス
 - ※ 13 才以下（中学 1 年）
 - ・ 13 歳以下女子シングルス
 - ・ 14 歳以下女子シングルス
 - ・ 女子ダブルス
 - 14 才以下（中学 2 年）
- 5 競技方法
 - ・ トーナメント方式及びリーグ戦を組み合わせる。
 - ・ 現行の日本卓球ルールに準ずる。
 - ・ 大会球は，日本卓球協会公認球 40mm（TSP ホワイト・シームレス）で行う。
 - ・ シングルスはリーグ戦から，ダブルスはベスト 4 決定からタイムアウトを認める。
- 6 参加資格
 - ・ 該当種目の年齢であること。
 - ・ 日本卓球協会及び本連盟に登録済の者。
（今年度の日本卓球協会登録ゼッケンを購入した者）
 - ・ 5 地区（県東・県南・県西・県北・中央）の予選会を通過した者。
 - ・ シングルスとダブルスの両方に出場することができる。
 - ・ ダブルスは同校の生徒でペアを組み，各地区予選会に出場すること。

 - ・ 推薦選手（地区予選なしで直接県大会に出場できる）
 - ア 平成 28 年度カデット全国大会出場者
 - イ 平成 28 年度東京選手権（カデット）出場者
 - ウ 平成 28 年度県新人体育大会シングルスベスト 16
 - エ 平成 29 年度県総体シングルスベスト 16
（1 年生は県大会出場者）

《各地区代表数》		
男女13歳以下	シングルス	8名
男女14歳以下	シングルス	24名
男女	ダブルス	4組

[小学生の参加] ・平成29年度県ホープス大会ホープス（小学生5～6年）ベスト8，カブ（小学校3～4年以下）ベスト4，バンビ（小学校2年以下）ベスト2の選手で希望があれば県カデット1年生の部に直接出場できる。
ダブルスは県ホープス大会の上位から2組が，県カデット大会出場できる。

[参考] 中学1～2年生でも，ジュニア（中学3年～高校2年）の部の代表になることができる。

・平成29年度県ジュニア大会の予定・・・期日9月17・18（日・月）
場所－ひたちなか市体育館

・中学生の参加資格
各地区ジュニア予選会通過者
前年度県ジュニア予選ベスト16以上
平成29年度県総合体育大会 シングルス ベスト16以上

※県ジュニア大会の要項は茨城県卓球連盟のHPからダウンロードすること

7 参加料 一人・1組 500円（各地区一括で組み合わせ時に納める）

8 全国大会について
・代表・・・シングルス各学年5名・ダブルス4組（昨年度参加者数）
・期日・・・平成29年11月10～12日（金～日）
・場所・・・熊本県総合体育館

※ 全国カデット大会参加の旅費は各市町村又は各学校・各自負担ですので宜しくお願いします。

9 申込み及び組合せ会議について
〔中学生〕・・・※各学校で申込みをしなくてよい。
・申込みは各地区委員長が一括して行う。
・期日・・・8月25日（金）
・場所・・・ひたちなか市立大島中学校
・要項の配布は地区カデット大会の時に行う。
〔小学生〕
・申込みは，ホープス代表が一括して申し込む。
・期日・・・8月25日（金）
・要項の配付・県ホープス大会の時に行う。

10 表彰 ・各種目ともベスト4まで表彰する。

11 その他 ※選手は必ず日本卓球協会登録ゼッケンをつけること。
※大会参加にあたって次のことにご協力ください。
・ゴミの持ち帰り・・・利用前よりきれいに。
・体育館使用上のきまり・・・ていねいにつかう。
・上，下のシューズの区別（体育館シューズで外に出ない。）
・トイレをきれいに使う。
・試合前後のあいさつなどもしっかりする。
・大会中の事故については，主催者は応急処置のみ行い，それ以上の処置については個人または団体の責任とします。